

人權教育・啓発推進計画 (概要版)

2019年〇月改定

計画策定の趣旨

推進計画は、本市における人権意識の現状を明らかにするとともに、市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、互いに尊重しあい、だれもがいきいきと暮らすことのできる都市建設と、平和で明るく豊かな文化のまちづくりのため、今後取り組むべき人権教育・啓発の方向を示すために策定するものです。

計画の位置づけ

国は人権の擁護に資することを目的とした「人権教育・啓発推進法」を平成 12（2000）年に制定し、平成 14（2002）年 3 月に「人権教育・啓発に関する基本計画」を策定しています。広島県においても、平成 14（2002）年に 5 月に人権教育・啓発についての基本方針を示す「広島県人権教育・啓発指針」、続いて 11 月に「広島県人権啓発推進プラン」12 月には「広島県人権教育推進プラン」を策定しています。

国や県の施策の流れを受け、三原市においても、平成 17（2005）年 4 月に三原市人権施策推進協議会を設置し、12 月には「三原市人権教育・啓発推進計画」を策定しています。本計画は、前計画策定から 13 年が経過し、新たな人権課題に対応するために改定を行うものです。

計画の期間

平成 31 年度から平成 40 年度までの 10 年間とし、10 年ごとに見直しを行います。

計画策定の経過

計画策定に当たり、市民意識調査（アンケート）を行い、県立広島大学と連携をして、素案の作成を実施して「人権施策推進協議会」に意見をいただいたのちに計画（案）の策定をしました。

基本理念と基本目標

(1) 基本理念

人権とは、すべての人間の尊厳にもとづいて、生まれながらに有する侵すことのできない固有の権利です。

また、人権尊重とは、人権がすべての人の固有の権利であるという考えのもとに、一人ひとりが自分の人権だけでなく、他の人の人権についても正しく理解し、互いに人権を尊重しあい共に生きていくということです。

三原市がめざす人権行政を推進するにあたっては、「一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される差別のない社会を実現し、だれもがそれぞれの個性や能力を活かして自己実現の達成を図っていくこと」を基本理念とします。

(2) 基本目標

推進計画は、市民一人ひとりの人権が尊重され、だれもがいきいきと生活できるまちづくりを目標とします。

個別重要課題への対応

わが国固有の人権問題である同和問題をはじめ、さまざまな人権問題が解決すべき課題としてあります。

個別重要課題については、現状の分析とそれについての課題をまとめ、市の施策と整合を取りながら、教育や啓発の方向性を示しています。

【個別重要課題の一覧】

番号	課題名	本編ページ数
1	女性	15 ページ
課題	男女共同参画の視点に立った施策の推進や就労環境の整備、女性に対する人権侵害の防止に向けた施策の充実が求められています。	
2	こども	16 ページ
課題	出生率の低下、核家族化や都市化の進展、生活様式の多様化により多くの課題がみられ、いじめの増加・陰湿化・少年非行の低年齢化・凶悪化・性の商品化などの子どもを育てるうえでの多くの困難が生じています。	
3	高齢者	18 ページ
課題	平均寿命の伸びとともに、生涯現役をめざして活躍する高齢者も増加しており、健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる長寿社会を構築していくことが求められています。	

4	障害者	20 ページ
課題	障害のある人に対する誤解や偏見など，理解と認識は十分とはいえず，障害者の社会復帰，自立及び社会参加が困難である場合も多く，また障害のある人に対する差別や虐待などの人権問題も発生しています。	
5	同和問題	22 ページ
課題	「あの人は同和地区出身だから・・・」「部落出身だから・・・」などと言われて結婚を妨げられたり，差別発言，差別落書きがされるなどの事案が依然として存在しています。同和問題（部落差別）の解決に向けて，差別意識の解消のための取組等が必要です。	
6	アイヌの人々	23 ページ
課題	アイヌの人々の民族としての歴史，文化，伝統及び現状に関する理解が十分でないため偏見や差別が存在しています。アイヌの人々に対する理解と認識を深める必要があります。	
7	外国人	24 ページ
課題	外国人の増加に伴い，言語，文化，習慣等の違いによる誤解から，近隣住民との摩擦が生じたり，理解が不十分であることによる差別や偏見などの問題があります。	
8	HIV 感染者等・ハンセン病患者等	25 ページ
課題	病気に対する正しい理解がされていないことによる差別や偏見の問題があります。感染症に対する正しい知識と理解が必要です。	
9	インターネットによる人権侵害	26 ページ
課題	匿名性，情報発信の容易さなどから，個人の名誉やプライバシーを侵害したり，差別を助長する表現を掲載したりする問題があります。インターネットを正しく使用し，人権侵害をなくすことが必要です。	
10	性的指向と性自認	26 ページ
課題	多様性に対する理解の不足，偏見などから差別の実態，また当事者がカミングアウトできない社会状況などの問題があります。	
11	さまざまな人権をめぐる問題	27 ページ
課題	刑を終えて出所した人，犯罪被害者，ホームレス等のさまざまな人権課題があります。	